

かわさきコロナ情報(動画特設ページ)

#22 令和2年7月8日 ~最近の新型コロナウイルス感染症の動向等~

こんにちは、川崎市長の福田紀彦です。7月8日水曜日、「かわさきコロナ情報」をお伝えします。

今日皆様にお伝えしたいことが3点あります。一つ目は直近の市内の感染状況について。二つ目が市内経済のこと、ワンストップの経営相談を開始しますということ。そして三つ目が風水害に備えて事前の準備をいたしましょうというお願い、の3点です。

まず市内の感染状況についてお伝えします。

本日現在、累計で市内では345人の陽性者の方が出ております。今日発表する新規の陽性者の方は9名となっています。この直近3週間の状況を詳しく見ていきたいと思います。

先週の6月29日から7月5日までの状況ですけれど、41名という状況でございます。その前の週が5名、その前の週は1名ということですから、急に増えてきているなというのが見ていただいているとおりです。

先々週までは市内の医療機関に入院されている方4名、その前の週も4名ということですけれども、これだけ新規の陽性者の方が増えています。現在では19名の方が入院されているという状況です。ただ市内の医療機関の皆さんのお協力によって、現在でも新型コロナウイルス感染症のために用意されているベッド、病床数というのは270ありますのでひつ迫している状況にはないということです。

これは1週間ごとの人口10万人当たりの新規陽性者数になりますけれども、国が緊急事態宣言を解除する際に目安にした数字というのが10万人あたり0.5人。先週は残念ながら2.68人というところで、0.5を大きく超えています。先々週までは0.33、その前は0.07ということですので、先週にきてどんどん目安とした基準を上回っているということです。

これは感染経路不明者の割合ですけれども、この先々週の100%というのが、実は感染者数そのものがお一人でしたので、お一人分からないということで100%ということです。この先々週も数が少ないので経路が分からないという形になっています。

今、49%が感染経路がわからないということになっていますが、当然母数が多くなってきておりますので、この約半分が、今感染経路が分からなくなっているということを、これは深刻に受け止めなくちゃいけないかなと思っています。そういうグラフの見方をしていただければと思います。

さて今の状況を川崎市の健康安全研究所の岡部所長、皆様御案内の方もいらっしゃると思いますけれど、国の専門家会議の会長代理を務めており、今も分科会の委員を務めていますけれども、岡部医師から、今の状況をどういうふうに見たらいいのかということで評価をもらっていますので、そのまま読ませていただきます。

「市内における新規陽性者数や入院中の患者数はじわじわと増加している状況ですが、新型コロナウイルス感染症に対する医療はもちろん、一般の医療を圧迫するほどではありません。市民の皆さんにおかれましては三密を避ける等のこれまでの注意を払いつつ日常の生活を続けていただければと思います。ただ、体調不良時の外出や市内外で患者発生数が明らかに多い場所への出入りは控えていただいた方がよろしいかと思います。」

こういう評価です。ですから引き続き3密を避けることを徹底していただくことはもちろんのことですけれども、市内外で患者の発生数が明らかに多い場所、あるいは感染対策が行われていない店舗、こういったところはぜひ避けていただく方がいいという評価ですので、これをまず気をつけていただきたいなと思っています。是非御協力の程宜しくお願ひいたします。

このコロナの影響で市内でも幅広い業種の方に影響が大きく出ていると思います。そこで川崎市としてワンストップでいろいろな経営相談ができるものを市内 3 か所に設置いたします。7月 15 日から開始いたします。中小企業診断士あるいは社会保険労務士、いろいろな専門家の方々が、国だとか県、市、いろんな支援制度がありますけれども、なかなか複雑で種類も多いものですからどの制度が自分の会社あるいは事業所では利用できるのだろうか、というといった御相談を受け付ける窓口をワンストップで完結できるような場所を設置します。市内 3 か所です。北部地域は登戸駅の川崎信用金庫登戸支店の 3 階、中部では武蔵小杉駅から徒歩 4 分のところにあります川崎市コンベンションホール、新しい施設ですけれどそこで。南部は川崎市産業振興会館の 3 階で、これは川崎駅が最寄り駅になります。この 3 か所で 7 月 15 日から開始いたしますので是非御相談いただければと思っています。また対面方式ではなく、オンラインとリモートでも相談を受け付けることにしておりますので、こちらも御相談いただければと思っています。

それぞれ 3 か所の最寄り駅でもブースを出しています。2 名くらいのスタッフがいて、簡単な御相談についてはこちらでお受けすることもできますし、また会場を御案内することもできますのでお声掛けいただければと思います。

なお、この相談会場に行かれる前にぜひ電話で、こちらの番号 044-548-4169、で予約を取っていただいて相談会場に行かれるのがよろしいかと思います。月曜から金曜まで午前 9 時から午後 5 時まで、平日になりますけれども、やっておりますので御相談ください。まず予約を取っていただきたいと思います。またインターネットによる予約もできますので、「川崎市ワンストップ経営相談」で検索していただきますと出てまいりますのでそちらで御予約をいただければと思っています。

3 点目、次は風水害に備えて「マイタイムライン」を作りましょうということです。本当に風水害対策は事前準備が大切です。地震と違い、台風や大雨というのは早めに準備ができる災害でありますので、事前の準備が本当に大切になってくるということです。「マイタイムライン」ですが、簡単に言いますと、御自身の、あるいはご家族の、災害に備えた準備計画と思っていただければいいと思います。災害が起こる前にどんな準備をしておけばいいのかをあらかじめ決めておくということ

とです。「マイタイムライン」がないとどこに避難していいのか分からない、あるいは何を持っていけばいいんだろうと、いざとなった時に困ってしまう、あるいは避難勧告とか避難指示だとかの言葉すらもどういうふうに捉えたらいいかと迷ってしまう前に、しっかりと事前の準備を御自身で、御家族でしていただくことが大事です。

まず一番最初にやっていただきたいのは、御自身が住まわれている地域、あるいは職場などが風水害の時にどんなリスクがあるかということを地図で確認していただくことが大事です。川崎市内 7 区全て各区ごとにハザードマップを作っております。それで御自身のところを確認していただきたいと思います。洪水が起きたら浸水するリスクはあるんだろうか、あるいは崖崩れや土砂災害になる地域に指定されているかどうかをぜひ確認していただきたいと思います。もちろんこのハザードマップは、川崎市のホームページでも御覧になれますのでそちらを御参照いただきたいと思います。

続いて家族の状況をまとめることです。御自身の御家族、お一人でしょうか、あるいは小さいお子さんがいらっしゃいますか、高齢者の方はいらっしゃいますか、ペットは…、こういう、自分の今の状況をしっかりと把握しておくことが大事です。そして次に避難先の候補をリストアップすることです。避難所、いわゆる小学校の避難所だけが避難先ではないということです。例えば御自宅が安全ならば自宅でこともありますし、あるいは近くの高い建物、あるいは友人知人の家が高台の方にあるので、あるいは親戚の家はどうだろうか、というふうに複数の避難先を事前に確認しておくことが大事だと思います。いざ本当の大雨になった時に、避難すること自体が身を危険にさらすことにならないようなるべく事前に、例えば親戚の家に行く、友人のところに行っているというふうに準備ができるかが大切になります。是非それぞれ御自身の、御家族の「マイタイムライン」を今から準備をしていただきたいと思います。

作成するには川崎市マイタイムラインで検索していただくと作り方を詳しく説明させていただいているのでぜひ準備をよろしくお願ひいたします。

今日も本当に九州ですか、あるいは岐阜の方でも大雨で大変な状況になっておりますけれども、これから台風シーズンを迎えるに当たって、昨年も川崎市で大きな被害が出ましたけれども、いざというときのために御自身の今の状況を再確認しておく必要がありますのでよろしくお願ひ申し上げます。

今日は以上です。